

1. 遺跡名 さがみ縦貫道路 海老名地区
中野桜野遺跡
(なかのさくらの)

2. 所在地 海老名市中野

3. 時代 弥生時代～近世

4. 調査概要

本調査は、日本道路公団東京建設局厚木工事事務所による、さがみ縦貫道路建設工事に伴う事前調査として、平成15年度から実施しています。

調査は9ヶ所の地点及び側道部分を対象として平成17年まで継続する予定です。

調査地点はJR社家駅の南西約1km、現在は相模川沿いの新堤防及び旧堤防の内側にあたります。一見して平坦ですが、周囲に比べ標高が若干高い相模川左岸の自然堤防上にあります。

これまでの調査では、そうした地形に応じて住居跡や墓地などが確認されています。

主な遺構として、近世の旧堤防、溝状遺構、墓坑群、畝状遺構、中世では、掘立柱建物址や溝状遺構、古墳・弥生時代の竪穴住居址・方形周溝墓・土坑などが発見されています。

遺物は、人骨、陶磁器類、須恵器・土師器、弥生土器・石器などがあります。





古墳時代(5号土坑)の遺物出土状況



弥生時代の遺物出土状況